



2020年5月1日

各 位

三重県保険医協会

## 運動の取り組みについて

2月20日、保団連中央要請行動、また衆議院第2議員会館で『みんなでストップ!患者・利用者の負担増』決起集会が開催された。三重協会から鶴飼・梅村各副会長が参加した。

集会前には要請書・関連資料【①医療・介護の負担増の中止を求めます②診療報酬の引き上げ、改善を求める要請③金パラ「逆ザヤ」の即時解消を求める要請書④新型コロナウイルス等感染対策の抜本的強化を求める緊急要請】を持参し、県選出および比例東海選出の各議員（秘書対応を含む）に要請した。中川正春議員（立民・衆・三重2区）には直接面談した。新型コロナウイルス対策で歯科医療機関での深刻なマスクの供給不足について現状を報告し、県備蓄分のマスクの緊急放出を要請した。早速、議員自ら、県担当課に電話をしていただいた。岡田克也議員（無・衆・三重3区）本人は不在であったが、吉野正英秘書と面談し、未だ解消していない金パラ価格の是正を要請した。また、翌日行われる厚生労働省レクチャー資料の提供もお願いした。決起集会は杉山正隆氏（保団連理事）の司会で始まり、冒頭発言では武村義人氏（保団連副会長）から医療機関の現状についての報告があった。引き続き、認知症の人と家族の会 田部井康夫氏（副代表理事）から今回の介護保険制度の問題点、利用者への影響についての報告があった。中央社保協 山口一秀氏（事務局長）からは11月11日に全国で開催された介護・認知症なんでも電話相談での介護保険を巡る深刻な実態の内容の報告があった。住江憲勇氏（保団連会長）の閉会挨拶で決起集会は終了した。

（三重県保険医協会副会長・梅村忠司）

以 上